

「慈悲の湯」 草津温泉の江戸時代

弱者のセーフティネットは
いかに生まれたか

高橋 敏 著

四六判 192 頁

ISBN:978-4-634-15269-4 C0021

定価 1,980 円(本体 1,800 円 + 税 10%)



天下の名湯・草津には、知られざる顔があった ——

「草津千軒、江戸構え」、湯宿が競い合い、湯治客で賑わった草津温泉。
一方で、貧しい病人が救いを求め、遠路を命がけでめざした「お救いの湯」でもあった。
武士も、旅人も、貧者も、病人も、誰もが共に癒やされた温泉の実態とは？
驚きの**江戸時代のセーフティネット**を明らかにする。

目次

● プロローグ

序 章 草津温泉のはじまり

- 1 草津温泉の起源
- 2 領民を苦しめた真田氏支配下の草津温泉

● 第1章 「生類憐れみの令」から始まった「お救いの湯」

- 1 真田氏の改易と新生草津
- 2 生類憐れみからの弱者救済
- 3 「お救いの湯」の誕生

● 第2章 慈悲の湯を支えた湯治場の経営

- 1 温泉権益をめぐる争い
- 2 名主選任をめぐる村方騒動
- 3 客引きと温泉のルール作り——活性化する草津

● 第3章 にぎわう草津と共生する人びと

- 1 村人と出稼ぎ人
- 2 湯治人の構成と湯治の費用
- 3 発信する草津——売れっ子起用の宣伝
- 4 共生する「おあまり」
- 5 ライバル伊香保温泉

● 第4章 慈悲の湯、草津——弱者の受け皿として

- 1 万病に効く温泉の入り方
- 2 病人と死者の弔い
- 3 身体障がい者・病人にもひらかれた温泉

● エピローグ

【付録】参考文献および史料／草津温泉の江戸時代略年表

著者について

国立歴史民俗博物館名誉教授。

主要著書：『江戸の教育力』（ちくま新書 2007）、『国定忠治の時代—読み書きと剣術—』（ちくま文庫 2012）、

『小栗上野介忠順と幕末維新—『小栗日記』を読む』（岩波書店 2013）、『一茶の相続争い—北国街道柏原宿訴訟始末』（岩波新書 2017）、

『博徒の幕末維新』（ちくま学芸文庫 2018）ほか多数。

ご注文冊数

冊

貴店番線印

拡材ご注文

POP

A4
パネル

新刊受注切 4/14 (火)

(ご担当名:)

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。



山川出版社 TEL: 03-3293-8131

※ご注文は、右記まで
FAX をお願い致します

FAX: 03-3292-6469